

かがやき通信第17号

通算第103号

◆<http://potato7.hokkai.net/~kagayaki/>

◆kagayaki@potato7.hokkai.net

就労継続支援B型事業所「かがやき工房」

〒070-0035 旭川市5条通5丁目1690-1

TEL・FAX 0166-29-1294



主な もくじ	◆コロナ禍に負けない!!	1P
	◆2年目に挑戦（利用者さん）	2P
	◆私は難病特定疾患切られました!!	3P
	◆パストラル編（休業期間）	4P

コロナ禍に負けない



当工房はB型事業所に移行してから早6年と3ヶ月が経ちました。

私たち利用者の目線から見ても、ここに辿り着くまでには色々山あり谷ありの連続だったような気がします。ところがですよ!! 輪をかけて今年の2月頃（R

2年）から世間では「コロナ禍」が勃発し始め、最初の頃は中国とかの対岸ニュースなんだと他人事と思っていたが、段々と国内、しかも北海道は早々と感染者が出たとのニュースには驚いたの何のって、エッ!! まさかの感じでした。

マスク、マスクで明け暮れて、当工房でも「マスク」の着用等で大混乱とまではいかないにしても多少の動揺が収まりませんでした。

営業面でもマイナス部分が発生したと思います。そんなこんなで全員がコロナ防止の為にうろたえていた。今が、今現在でもすくなくならず尾を引いている状況です。早く元の世の中に戻ってくださることを願うばかりです。

しかし、ここ旭川では今のところ発症者が出ていないが、暗たん構えているわけにはいきません。いつ、怖いウイルスが忍び込んで来るかと思うと居ても立ってもいられない心境であります。あまり神経質になり過ぎて毎日楽しくないので、気を付けなければならぬ事には充分注意をして（3密を避ける、手洗い、マスク）。後は普通に過ごそうと思っています。

手作りマスクに挑戦!!

当工房では、当初はマスクが足りず、あちこちを探し回ったが結局は自分たちで作ろうという事になって、不器用ながらも急遽、生地を集めることから始め、一所懸命縫いました。

お陰さまで販売に漕ぎつけまして今では、工房内と「おびつた」内の「パストラル軽食喫茶」にて販売しております。在庫を切らさない様に次々と作っておりますので是非!! 皆様こそってマスクをお買い求め下さい。



「アベのマスク」が中々届かず、しびれを切らして自分たちで作ることに決めて作り始めました。

二年目に挑戦!!

地道にコツコツと

私が、工房に入ったのは二〇一九年の三月でした。何に対しても突っ走る性分の私が唯一上手くいったのは、かがやき工房に入れたことです。

今、困っていることは病気による妄想との闘いです。自分で考えているのではなくて、勝手に脳内で起きるものなので、厄介で、苦しいです。作業中にそれが起きると、不安で仕方ありません。何故かという、妄想が周りの人に感づかれていたらと思うと、とても恥ずかしいからです。

それが工房での一番の悩みです。それがなければ作業する時間は、もっと有意義になると思うのです。妄想になるのを恐

れて毎朝、いっそ休んでしまおうと思い、休んでしまった日もあったのですが、今月は行かなければという強い思いで、自分に言い聞かせて、何とか通えています。それが、自分に打ち勝つということだと思っております。

人にどう見られようと気にしない自分でありたい。しかしどうしても人の目が気になってしまう。弱い自分です。毎日、妄想との闘いで、疲れてしまいます。が、一日でも早く覚えなければならぬ作業があるので、マスクでできるように頑張りたいです。

私が働く居場所は工房の他にないと思っ

こんなやりがいのある作業をさせてもらえるのはとてもありがたいです。今後も、しっかり仕事を覚えて、工房の支えとなるような自分でありたいと思っております。

(J・K)



パソコン画面に集中 !!



ここが入り口。中に入ったら左側がメインの事務所兼作業室です。

2020年度

- ▲ マスクに使うゴム 越智 恵子 様 令和 2年 4月 23日
- ▲ マスクに使うゴム 猪股 優香 様 令和 2年 4月 23日
- ▲ マスクに使う生地 戸田 郁子 様 令和 2年 4月 23日
- ▲ 小物用生地等・コーヒー 荒谷 峰子 様 令和 2年 4月 25日
- ▲ コーヒー 高橋 憲次 様 令和 2年 6月 25日

ありがとう
ございました



ご寄贈

難病特定疾患外されて

私は平成三十年十月に北海道の方から通知書が届き、指定難病（クローン病）にかかっているものの、軽症高額該当の要件を満たしていないため、特定医療費支給から外されました。

それから約一年と数ヶ月経た今は、以前よりも元気に過ごしていること自体が不思議でならない。

だって、過去二十数年前に遡りますが毎日のように腹痛（激痛）、下痢、嘔吐に悩まされ苦しんだ記憶が走馬灯のように浮かんできます。まるで地獄そのものだった。入退院が引っ切りなしに押し寄せて、閉口極まりない状況の明け暮れだった。どうやって現在のようになり直ることができたんだろう。それには、ただだ

だ心身ともに自分との闘いと医療関係者との指示に従って治療に前向きだったこと。何よりも自分の周りの環境が徐々にだけ改善されたことが唯一の元気になれた源ではなかったかなと思っっています。今後も尚一層、一日たりとも気を抜くことは許されません。何故ならば以前のような苦しみは二度と味わいたくありませんから。お腹に良いものを口にし乍ら、これからの私の人生（どんだけエー）に課せられた永遠のテーマだと思っています。

(K・K)

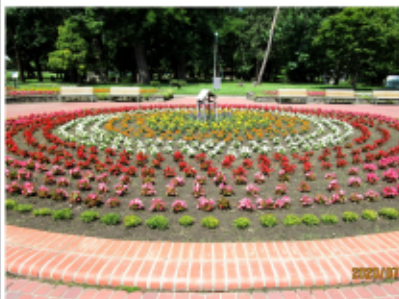


通所の途中で ちょっと道草



五月八日 常盤公園

写真上、チューリップ
写真下、7月、コントラストが綺麗!!



五月八日 常盤公園

写真上、桜が満開の5月8日
写真下、噴水。鴨がスイ〜スイと5羽ほど泳ぎ回っていました



写真上は岩村 道俊の像

7月のある日、常盤公園をグルッと一周してみた。綺麗なお花と噴水にしばし見とれてしまった。何個かの石碑も有って、上の石像の他にも旭川市（初代市長、その頃は旭川町長）の本田親美翁像が有りました。多分、旭川開拓の為に血の滲むような苦勞をなされたのではと、この石碑を見て思いました。

パストララル編

大変な期間中、どの様に過ごされました？

▲ 新型コロナウイルスの影響でおびつたの二度の臨時休館を経験し、不安に思ったこともありましたが、スタッフ一同元気に過ごしているのでも心強いです。

▲ 今現在はテーブルの配置を変え飛沫対策をしたり、消毒液でテーブルを拭くなど、できる限りの感染防止対策をしています。そのため、以前より席数は少なくなっていますが、安心安全を心がけて営業しています。

▲ いつも通り家事をしつつ、掃除は多めにしていました。

▲ 家の掃除をしていました。

▲ 編み物などをして家の中で過ごしました。

▲ 工房に通っていました。

(越智)

▲ 工房に通っていました。

(前田)

▲ 家の掃除と小物作りなど縫い物をしていました。

(戸田)



2種類の消毒液



仕切り板を付けて感染防止対策を徹底



明るい店内は以前と変わりありません



店内からの眺めは素敵です。よ。駐車場も広いし。

♪ 編集後記 ♪

▲ 1ページ目に載せたマスクの件ですが作り始めの頃は飛ぶように売れた？マスクも今は時々しか売れなくなっていました。

▲ パストララル編で越智さんと前田さんからのコメントがありました。(工房に通ってる間、大変お世話になりました)。

▲ 今は暑さの真っ最中ですので、皆さんくれぐれも熱中症にならないように気をつけて過ごしましょう。K

